

環境経営レポート

アクション21ガイドライン 2017年版

対象期間 2023年7月～2024年6月



株式会社 富士ネーム

作成日：2024年 8月 1日

目次

- 1 環境経営方針
- 2 事業概要
- 3 推進体制図
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営目標とその実績（原単位補正）
- 6-1 環境経営目標とその実績グラフ
- 6-2 環境経営目標とその実績グラフ1（月別）
- 6-3 環境経営目標とその実績グラフ2（月別）
- 7 主な環境経営計画の内容と取り組み結果の評価
- 8 環境関連法規への違反、訴訟の有無
- 9 マネージメントレビュー議事録
(代表者による全体の評価と見直し)



株式会社 富士ネーム 環境経営方針



＜環境経営理念＞

株式会社富士ネームは、環境保全が人類共通の課題であることを認識し、

「私たちは、自然豊かな未来を印刷します」

をスローガンに環境マネジメント活動に取り組む。

＜環境経営方針＞

当社は、菊川市西部の緑あふれる豊かな自然環境の地にあつて、自動車用計器文字板類、車載用ヒーターコントロールパネル、各種スイッチの印刷及びIMD(成形加工品)販売を主として事業活動を展開している。

近日、地球環境問題が叫ばれる中、地球環境の保全活動が経営の重要課題であることを認識し、企業の使命として、以下の環境経営方針を定める。

1. 事業活動に係わる環境影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
2. 環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を順守するとともに、その維持管理を図る。
3. 事業活動が与える環境影響の中で、次の項目を重点に環境マネジメント活動を行い、定期的に見直しを実施する。
 - (1) 不良率の低減。
 - (2) 地球温暖化防止のため、電力・燃料の二酸化炭素排出量を低減する。
 - (3) 廃棄物問題に対応するため、廃棄物の分別をし、再資源化を図る。
 - (4) 水資源の節減に努める。
 - (5) 化学物質の適正管理に努める。
4. 環境教育の充実を図り、全従業員が環境方針を理解し、全員参加で取り組む。



環境経営方針は、社内外に開示する。 —

株式会社富士ネーム
代表取締役社長

岩瀬護

岩瀬

制定 2007年10月01日
改定1 2009年11月01日
改定2 2010年07月01日
改定3 2019年08月01日
改定4 2023年08月01日

事業概要

- (1) 社 名 : 株式会社 富士ネーム
代 表 者 : 代表取締役社長 岩瀬 護
- (2) 所 在 地 : 〒439-0031 静岡県 菊川市 加茂 1110-7
- (3) エコアクション
21 : 認証 登録番号 0002841
: 認証 登録日 2008年8月28日
: 環境管理責任者 松浦久幸
: TEL 0537-35-2281
: FAX 0537-35-2283
- (4) 事 業 内 容 : 自動車用計器文字板類、車載用ヒーターコントロールパネル、各種スイッチの印刷及びIMD（成形加工品）販売
- (5) 売 上 高 : 3.0億円 (2023年度)
- (6) 設 立 : 1967年 7月 20日
- (7) 資 本 金 : 1,000万円
- (8) 従 業 員 数 : 29名 (2024年6月末現在)
- (9) 敷 地 面 積 : 9,900 m²
- (10) 延 床 面 積 : 5,483 m²
- (11) 事 業 年 度 : 7月 ~ 6月
- (12) 主 要 設 備 : 紗貼機 1台、スベチア印刷機 1台、ミノマット印刷機 9台、乾燥機 11台、プリントマスター印刷機 2台、プレス機 11台、NCルーター機 1台、自動穴あけ機 2台、高圧成形機 5台、射出成型機 4台、二次元測定器 1台、
- (13) 付 帯 設 備 : チラー1台、社有車3台、リフト1台、コンプレッサー2基、天井クレーン1基、エレベーター2基

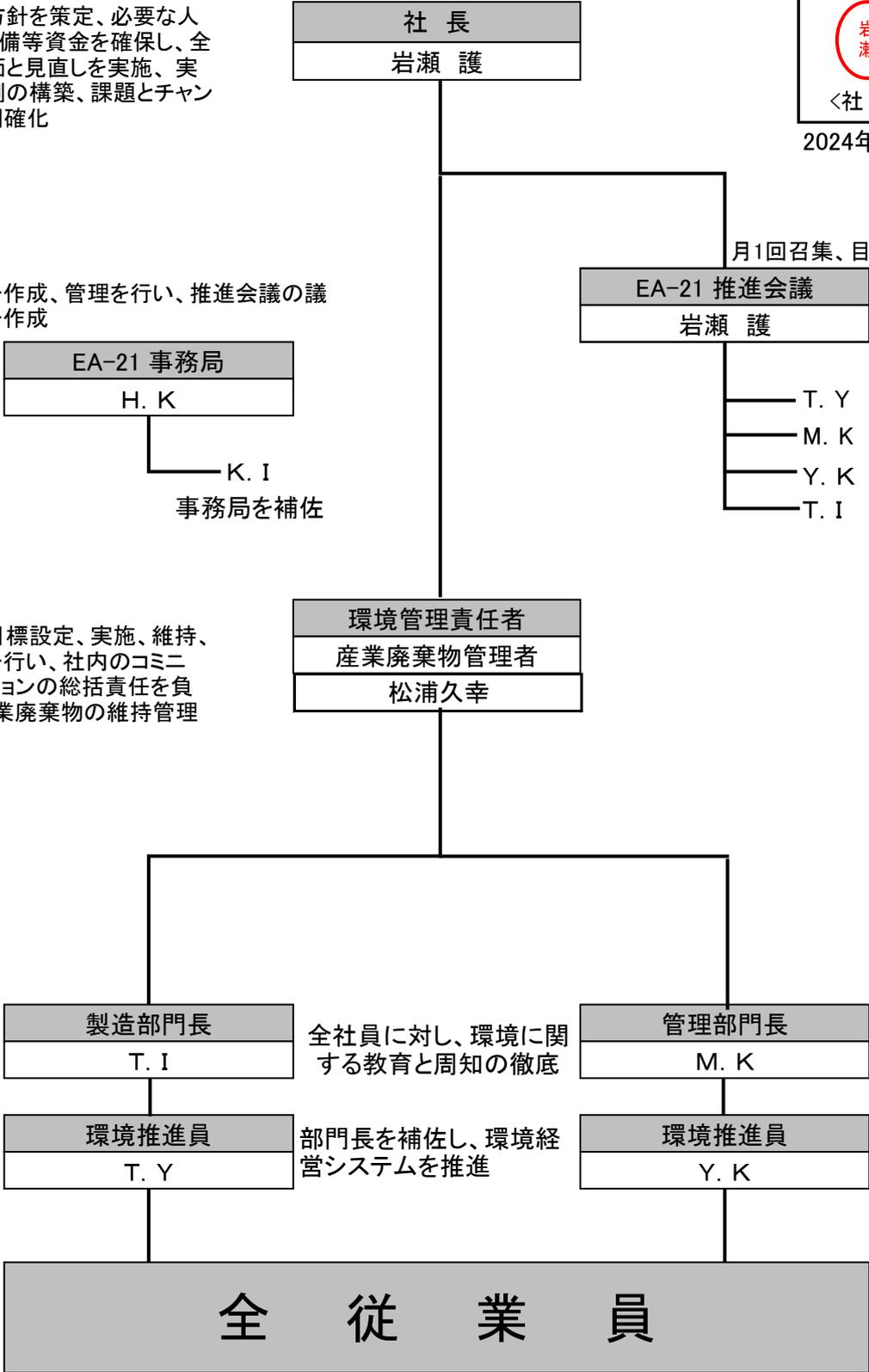
(株) 富士ネーム EA-21 推進体制図

役割と内容

環境方針を策定、必要な人材、設備等資金を確保し、全体評価と見直しを実施、実施体制の構築、課題とチャンスの明確化

文書を作成、管理を行い、推進会議の議事録を作成

環境目標設定、実施、維持、管理を行い、社内のコミュニケーションの総括責任を負う。産業廃棄物の維持管理



承認  〈社長〉	作成  〈事務局〉
---------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

2024年7月1日現在

月1回召集、目標実績、予測報告

・環境経営目標を遵守し業務活動を推進

2023年度 EA21 環境経営目標

3		
2		
1		
0	2012.07.06	新規制定

承認  〈社長〉	作成  〈責任者〉
---------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

No.	環境目的	2023年度 (23/7~24/6)			2024年度 (24/7~25/6)		
			目標値	担当責任者		目標値	担当責任者
1 全社	電力消費量の削減 1) . 電力消費量の削減	省エネルギーの遵守 省エネ設備の導入 (更新時) 印刷段取り時間の短縮化拡大 電力監視モニターによる抑制	2023年度の 使用量は 417379Kwh 以下とする。	H.M H.K	省エネルギーの遵守 省エネ設備の導入 (更新時) 印刷段取り時間の短縮化拡大 電力監視モニターによる抑制	2024年度の 使用量は 413163Kwh 以下とする。	H.M H.K
2 全社	LPG消費量の削減 1) . LPG消費量の削減	省エネルギーの遵守 省エネ設備の導入 (更新時)	2023年度の 使用量は9538m ³ とする。	H.M H.K	省エネルギーの遵守 省エネ設備の導入 (更新時)	2024年度の 使用量は9441m ³ とする。	H.M H.K
3 全社	水使用量の削減 1) . 水使用量の削減	水道の蛇口はこまめに開閉 漏水は即修理 インフラ系の漏水確認と修理 給水圧の調整 冷却水の温度と水量管理 冷水、温排水の熱回収の見直し、再利用	2023年度の 使用量は、 1853m ³ と する	H.M H.K	水道の蛇口はこまめに開閉 漏水は即修理 インフラ系の漏水確認と修理 給水圧の調整 冷却水の温度と水量管理 冷水、温排水の熱回収の見直し、再 利用	2024年度の 使用量は、 1835m ³ と する	H.M H.K
4 全社	廃棄物の再資源化 1) . 廃棄物の排出削減	分別ルールの遵守 廃プラの有価化検討	2023年度の 産業廃棄物のリ サイクル率は85% 以上とする。	H.M H.K	分別ルールの遵守 廃プラの有価化検討	2024年度の 産業廃棄物のリ サイクル率は85% 以上とする。	H.M H.K
5 製造	不良率の低減 1) . 不良率の低減 成型製品 エンブレム	印刷異物不良対策の検討 高圧成型機の温度管理 高圧成型機の設定条件の検討 樹脂成型機の設定条件の検討 各工程間連動対策	15% 各月15%を超過 しない事	T.K O.K	印刷異物不良対策の検討 高圧成型機の温度管理 高圧成型機の設定条件の検討 樹脂成型機の設定条件の検討 各工程間連動対策	2024年度の 不良率は各月15% を超過しない事	T.K O.K
6 製造	化学物質の適正管理	SDSを入手し化学物質の確認 適正な保管	適正管理	T.Y A.H	SDSを入手し化学物質の確認 適正な保管	適正管理	T.Y A.H

【備考】

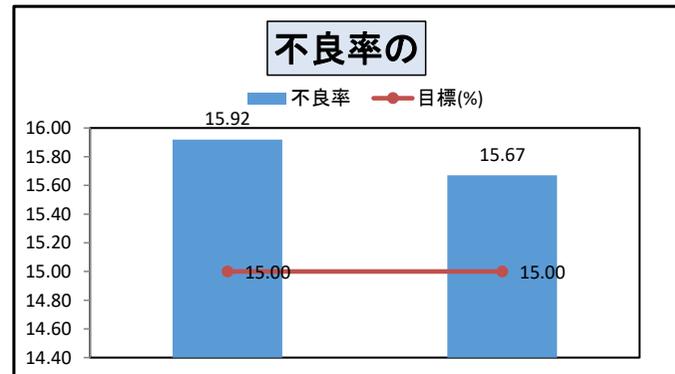
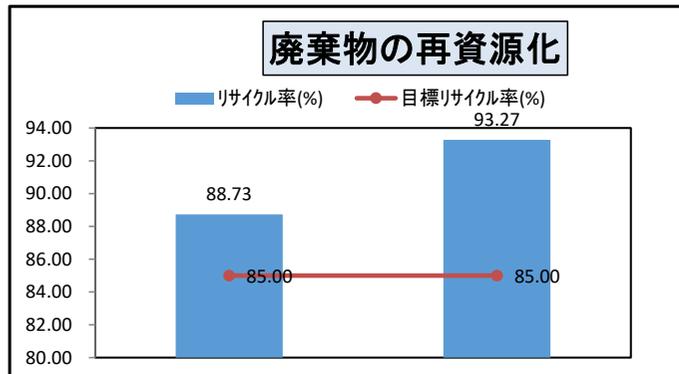
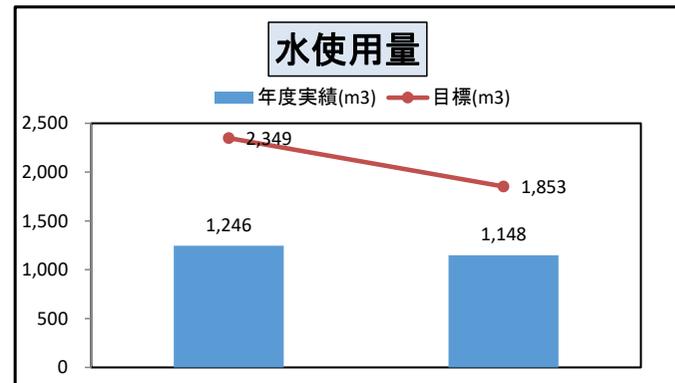
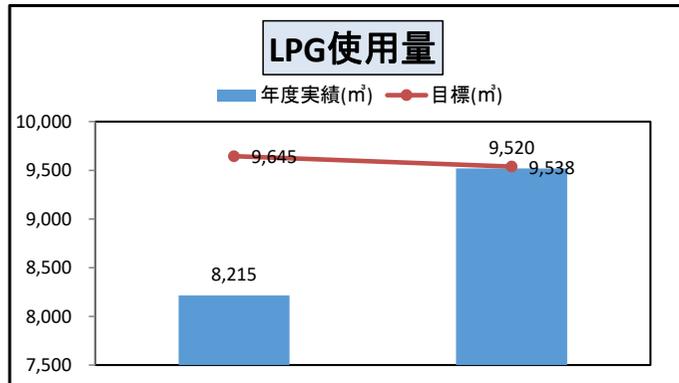
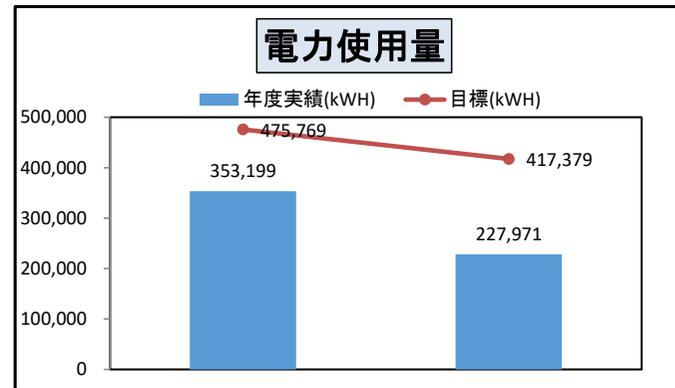
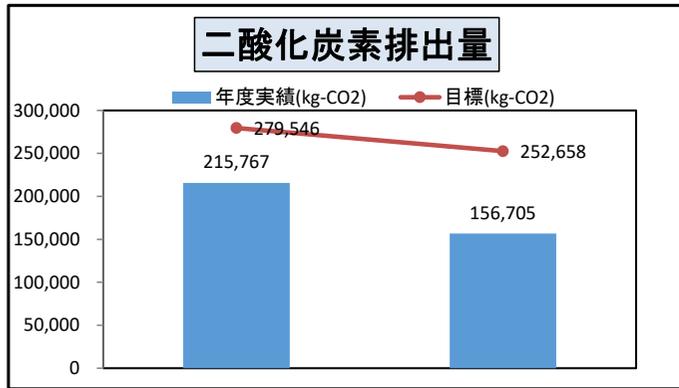
中長期目標として2024から2025年度までの環境目標を過去3カ年の平均より1%削減する。

5. 環境経営目標とその実績

No.	取り組みテーマ	集計要素 (単位)	基準年		取り組み年度	中長期目標	
			実績(基準年) 過去3年間平均	2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度 実績	2024年度 令和6年度 目標	2025年度 令和7年度 目標
1	二酸化炭素排出量削減 2023年度目標 基準年(過去3カ年の平均実績)に対し1%削減	目標(kg-CO2)		279,546	252,658	250,106	247,554
		年度実績(kg-CO2)	255,210	215,767	156,705		
		生産量(千個)		1,004	520		
		原単位実績(kg-CO2/千個)		214.91	301.36		
		達成率		130%	161%	基準年に対し 2%削減	基準年に対し 3%削減
		評価		○	○		
1-1	電力使用量の削減 2023年度目標 基準年(過去3カ年の平均実績)に対し1%削減	目標(kWH)		475,769	417,379	413,163	408,947
		年度実績(kWH)	421,595	353,199	227,971		
		生産量(千個)		1,004	520		
		原単位実績(kWH/千個)		351.79	438.41		
		達成率		135%	183%	基準年に対し 2%削減	基準年に対し 3%削減
		評価		○	○		
2	LPG使用量の削減 2023年度目標 基準年(過去3カ年の平均実績)に対し1%削減	目標(m ³)		9,645	9,538	9,441	9,345
		年度実績(m ³)	9,634	8,215	9,520		
		生産量(千個)		1,004	520		
		原単位実績(m ³ /千個)		8.18	18.31		
		達成率		117%	100%	基準年に対し 2%削減	基準年に対し 3%削減
		評価		○	○		
3	水使用量の削減 2023年度目標 基準年(過去3カ年の平均実績)に対し1%削減	目標(m ³)		2,349	1,853	1,835	1,816
		年度実績(m ³)	1,872	1,246	1,148		
		生産量(千個)		1,004	520		
		原単位実績(m ³ /千個)		1.24	2.21		
		達成率		189%	161%	基準年に対し 2%削減	基準年に対し 3%削減
		評価		○	○		
4	廃棄物の再資源化 リサイクル率85%以上	目標リサイクル率(%)		85.00	85.00	85.00	85.00
		総排出量(t)		17.39	17.09		
		再資源化(t)		15.43	15.94		
		リサイクル率(%)		88.73	93.27	リサイクル率 85%以上	リサイクル率 85%以上
		達成率			110%		
		評価		○			
5	不良率の低減 不良率15%以下	目標(%)		15.00	15.00	15.00	15.00
		不良率		15.92	15.67		
		達成率			96%	15%以下	15%以下
		評価			△		

- *評価基準 達成率100%以上:○ 80%以上~100%未満:△ 80%未満:×
- *廃棄物についてはその年の総排出量に対しリサイクル率85%以上とする
- *2023年度の環境目標を2020年度から2022年度までの3カ年の平均より1%削減する。
- *中長期目標として2023~2025年度までの環境目標を1%ずつ削減する。
- *水使用量の実績は8月末日に判明する。(その時点で記入する。)
- *二酸化炭素排出係数は鈴与商事令和4年実績の調整後排出係数『0.387』とする。
- *廃棄物の内、廃ブラについては60%をサーマルリサイクルとする。

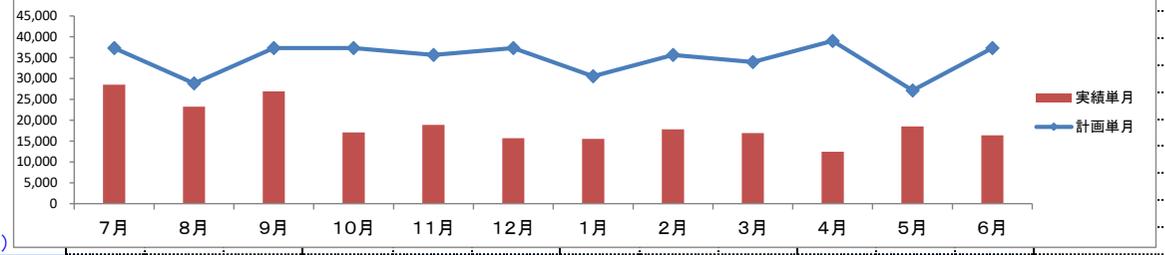
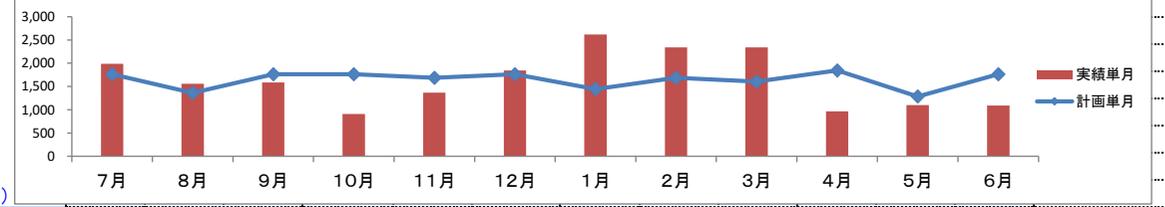
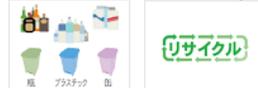
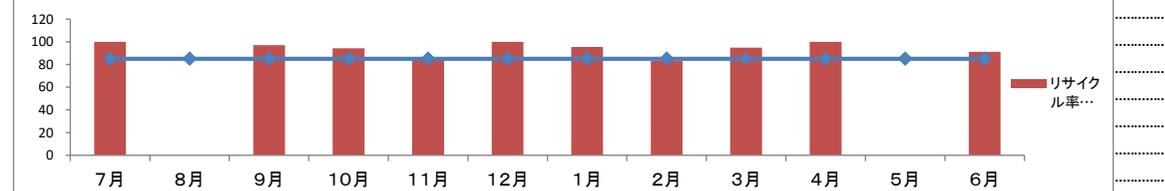
6-1.環境経営目標とその実績 グラフ



2023年度 EA21環境活動計画書

6-2.環境経営目標とその実績グラフ1（月別）

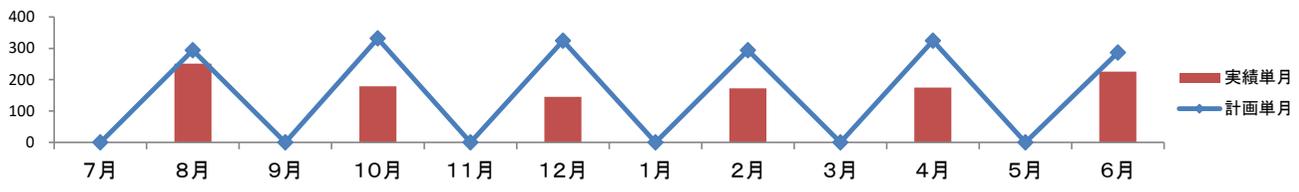
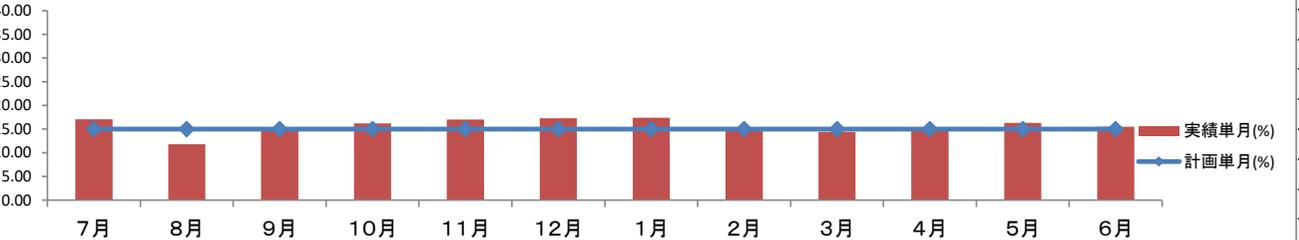
報告		計画	
承認	作成	承認	作成
岩瀬	加藤	岩瀬	加藤
<社長>	<責任者>	<社長>	<責任者>

No.	環境目標/テーマ	達成状況確認欄	2023年						2024年						年間合計					
			担当者 稼働日	7月 22	8月 17	9月 22	10月 22	11月 21	12月 22	1月 18	2月 21	3月 20	4月 23	5月 16		6月 22	246日			
1	<省エネ> 電力消費量の削減 ・省エネルールへの遵守及び徹底 	①省エネルールへの遵守。 ②省エネ設備の導入（更新時）。 ③電力監視モニターによる抑制 ④印刷段取り時間の短縮	松浦久保田													(備考)				
			責任者 印	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤		加藤			
			2023年度目標	計画単月	37,327	28,843	37,327	37,327	35,630	37,327	30,540	35,630	33,933	39,023	27,147		37,327			
			417,379 kWh (稼働日補正あり)	実績単月	28,547	23,277	26,946	17,097	18,865	15,668	15,524	17,805	16,893	12,429	18,529		16,391			
				計画累計	37,327	66,170	103,496	140,823	176,453	213,779	244,319	279,949	313,883	352,906	380,052		417,379			
				実績累計	28,547	51,824	78,770	95,867	114,732	130,400	145,924	163,729	180,622	193,051	211,580		227,971			
			全社	評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
			2	<省エネ> LPG消費量の削減 ・省エネルールへの遵守及び徹底 	①省エネルールへの遵守。 ②省エネ設備の導入（更新時）	松浦久保田														
						責任者 印	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤		加藤	加藤		加藤
						2023年度目標	計画単月	1,766	1,364	1,766	1,766	1,685	1,766	1,445	1,685		1,605	1,846		1,284
19744 kg (稼働日補正あり)	実績単月	1,987				1,560	1,587	911	1,369	1,845	2,617	2,339	2,341	964	1,098	1,090				
	計画累計	1,766				3,130	4,896	6,661	8,347	10,113	11,557	13,243	14,848	16,694	17,978	19,744				
	実績累計	1,987				3,547	5,134	6,045	7,414	9,258	11,875	14,215	16,555	17,519	18,618	19,707				
全社	評価	×				×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○				
3	<廃棄物> 廃棄物のリサイクル化推進 ・分別ルールへの遵守及び徹底 	①分別ルールへの遵守。 ②廃プラの有価化検討				松浦久保田														
						責任者 印	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤		
						2023年度目標	リサイクル率 計画単月	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85		
			リサイクル率85%以上を 目標にする	排出量 単月	1,660	0	1,083	1,705	1,837	1,399	2,229	2,096	1,256	1,437	0	2,392				
				再資源化 単月	1,660	0	1,051	1,609	1,551	1,399	2,125	1,740	1,192	1,437	0	2,179				
				排出量 累計	1,660	1,660	2,743	4,448	6,285	7,684	9,913	12,009	13,265	14,702	14,702	17,094				
				再資源化 累計	1,660	1,660	2,711	4,319	5,870	7,269	9,394	11,135	12,327	13,764	13,764	15,943				
				リサイクル率 単月	100	#DIV/0!	97	94	84	100	95	83	95	100	#DIV/0!	91				
			全社	評価	○	—	○	○	×	○	○	×	○	○	—	○				

2023年度 EA21環境活動計画書

6-3.環境経営目標とその実績グラフ2（月別）

報告		計画	
承認	作成	承認	作成
岩瀬	加藤	岩瀬	加藤
<社長>	<責任者>	<社長>	<責任者>

No.	環境目標/テーマ	達成状況確認欄	担当者 稼働日	2023年						2024年						年間合計 246日
				7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
			責任者 印	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	
		プログラム		(備考)												
4	<省エネ> 水使用量の削減 2023年度目標 1853 m ³ (稼働日補正あり) 	①水道の蛇口はこまめに開閉 ②漏水は即修理 ③インフラ系の漏水確認と修理 ④給水圧の調整 ⑤冷却水の温度と水量管理 ⑥水の再循環使用の可能性調査	松浦 久保田													
		(補正值)														
		計画単月		0	294	0	331	0	324	0	294	0	324	0	286	
		実績単月		0	251	0	179	0	145	0	172	0	175	0	226	
		計画累計		0	294	294	625	625	949	949	1,243	1,243	1,567	1,567	1,853	
		実績累計		0	251	251	430	430	575	575	747	747	922	922	1,148	
		評価			○		○		○		○		○		○	
5	<不良率の低減> ・成型製品 エンプレムの不良率15%以下 2023年度目標 不良率15%以下	①印刷異物対策の検討・実施 ②印刷ズレ連続不良対策の検討実施 ③UV印刷工程不良対策の検討実施	川隅 神尾													
		計画単月(%)		15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
		実績単月(%)		17.10	11.80	14.80	16.20	17.00	17.30	17.40	14.90	14.40	15.30	16.30	15.50	
		評価		x	○	○	x	x	x	x	○	○	x	x	x	

3		
2		
1		
0	2021.08.01	新規制定

8.環境関連法規への違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

法規等の名称	遵守事項	必要資格	該当部門	※ 活動評価(2024年7月19日)												
浄化槽法	1) 水質の定期検査→1回/年 ・ 水質検査項目が基準値以内であること(詳細は、業者報告書) 2) 保守点検(1回/4ヶ月)及び清掃(1回/年)	なし	管理	○ 水質の定期検査結果は、全ての項目で規制基準内にて推移しております。又、保守点検(1回/4ヶ月)及び清掃(1回/年)は、計画どおり実施されています。												
騒音規制法	1) 静岡県菊川市規制基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規制基準</th> <th>菊川市 第4種区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼間</td> <td>(午前8時～午後6時)</td> <td>70 dB</td> </tr> <tr> <td>朝・夕</td> <td>(午前6時～午前8時、午後6時～午後10時)</td> <td>65 dB</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>(午後10時～翌日の午前6時)</td> <td>60 dB</td> </tr> </tbody> </table> ※レゾナンス/新設備の導入/異常音の発生時に遵守評価が必要	区分	規制基準	菊川市 第4種区域	昼間	(午前8時～午後6時)	70 dB	朝・夕	(午前6時～午前8時、午後6時～午後10時)	65 dB	夜間	(午後10時～翌日の午前6時)	60 dB	なし	製造	○ この一年間、騒音に関する苦情はありませんでした。
区分	規制基準	菊川市 第4種区域														
昼間	(午前8時～午後6時)	70 dB														
朝・夕	(午前6時～午前8時、午後6時～午後10時)	65 dB														
夜間	(午後10時～翌日の午前6時)	60 dB														
振動規制法	1) 静岡県菊川市規制基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規制基準</th> <th>第2種区域の2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼間</td> <td>(午前8時～午後8時)</td> <td>70 dB</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>(午後8時～翌日の午前8時)</td> <td>65 dB</td> </tr> </tbody> </table> ※レゾナンス/新設備の導入/異常振動の発生時に遵守評価が必要	区分	規制基準	第2種区域の2	昼間	(午前8時～午後8時)	70 dB	夜間	(午後8時～翌日の午前8時)	65 dB	なし	製造	○ この一年間、振動に関する苦情はありませんでした。			
区分	規制基準	第2種区域の2														
昼間	(午前8時～午後8時)	70 dB														
夜間	(午後8時～翌日の午前8時)	65 dB														
悪臭防止法	1) 臭気の確認(静岡県菊川市規制基準：臭気指数=18) ・ 工場敷地境界周囲において、臭気を確認する。(4回/年)	なし	製造	○ この一年間、悪臭に関する苦情はありませんでした。												
廃棄物処理法	1) 委託契約書(収集運搬業者及び処分業者と夫々の契約が必要) 委託業者の許可有効期限、委託料、最終処分場の情報等 2) マニフェストの返送期限 ・ B2/D票 産業廃棄物 90 日以内 特管物 60 日以内 ・ E票 産業廃棄物 180 日以内 特管物 180 日以内 3) マニフェストの保管義務 A、B2、D、E票 (5年間) 4) マニフェスト交付等状況報告 年1回6月末 特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	なし	管理	○ 廃棄物委託業者との契約書は、適正な契約内容であることを確認しました。 マニフェストは、自主基準内で適切に運用管理されていることを確認しました。												
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	1) 産業廃棄物管理責任者の設置 2) 産業廃棄物処理の委託先の実地確認とその記録の保存	なし	管理	○ 委託先廃棄物処理業者の実地確認をしました。												
消防法	1) 危険物屋内貯蔵所の届出(指定数量の倍数=2.15倍) 2) 指定数量内での運用管理	なし	製造	○ 貯蔵所内の3S及び可燃物が無い事を確認した。												
フロン排出抑制法	1) 全ての第一種特定製品について、3か月に一回以上の簡易点検 2) 第一種特定製品のうち、圧縮機に用いられる電動機の定格出力が7.5kW以上の機器について、3年に一回以上の定期点検	なし	管理	○ 簡易点検によりすべての項目で異常の無い事を確認しました。												

2. 違反、訴訟等の有無

- * 上表の環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、これらの法規制等への違反は、確認されている2004年7月以降ありません。
- * 関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

見直し会議 マネジメントレビュー議事録(2023年度)

日時 2024年 7月 11日 場所：会議室
出席者：社長、加藤、松浦、久保田、八木、神尾、川隅、佐藤

承認 岩瀬 〈社長〉	作成 久保田 〈事務局〉
-------------------------	---------------------------

内 容	見直し結果・対応部門・時期等
1.環境関連法規等の改正等の動向及び遵守状況 「環境関連法規等の活動評価」のとおり、環境関連法規等の遵守状況を 確認した結果、これらの法規制等への違反はありませんでした。	今回の改定はありません。
2.苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション 又、環境関連での利害関係者からの コミュニケーションについても報告すべき内容はありませんでした。	今年度も苦情はありませんでした。
3.当社の環境パフォーマンスの状況 太陽光発電システムの監視 昨年3月よりエコパス(鈴与)での監視で見える化	月々の電気使用量は低減でき、今 後を確認していく。
4.環境目標及び環境活動計画の達成状況 ※ 2023年度 環境目標の達成度は、下記のとおりです。(2024/6末現在) 電力 : 目標を達成できた。 水 : 目標を達成できた。 廃棄物 : 目標を達成できない月があったが満足している。 LPG : トータルでの評価は達成できた。 不良率 : 目標に達成できなかった。横ばい状況ではある。	3月に電気使用量確認をしていく。 (契約更新) 目標を達成できていない原因を確 認し対応していく(改善活動にて)
5.是正処置及び予防処置の状況 予防処置に該当する項目もありませんでした。	今回はありませんでした。
6.前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ 前期より生産量の変動が大きく廃棄物量にも変動があった。	コロナ禍での生産量の減少と在庫 数の見直しを実施する。
7.外部・内部状況の変化 コロナ禍及びカーメーカー不正による生産数の変動。	コロナ禍での生産数の減少とカー メーカー不正情報以降も受注減に よる影響があった。
8.事故、苦情等の状況と対応	今回はありませんでした。
9.改善のための提案 エンブレムの目標不良率15%を継続的に達成するためにブツ不良の さらなる減少対策が必要。	目標達成はできていないが、横ば い継続になっている。継続な改善 をおこなっていく
10.その他 PRTR制度対象物質に関して、使用した化学物質量の把握。 労働安全衛生法の新たな化学物質規制への対応。	講習の実施 化学物質管理講習 保護具着用管理責任者講習

代表者による全体評価・見直し指示

見直し項目	変更の必要性	指示事項等
1 環境方針	有 ・ 無	現状の環境方針で進めたいと考えます。
2 環境目標	有 ・ 無	各活動目標値の見直し改定をして下さい。
3 環境活動計画及び環境経営システム等	有 ・ 無	昨年並みで進めたいと思います。
4 環境関連法令	有 ・ 無	現在は遵守されており、今後も継続し、変動に気をつけて下さい。
5 環境活動レポート	有 ・ 無	昨年並みで進めたいと思います。
6 実施体制	有 ・ 無	昨年と同様で進めたいと思います。
7 その他	有 ・ 無	社内掲示板の活用をして下さい。

総評

太陽光発電システムの導入により今後の電気使用量の削減はできている。
年度を区切り目標値設定の見直しが必要と考える。
生産量の減少により各使用量の減少があります。今後の継続監視をお願いします。